

毎日 セミナー通信

第89号

発行
毎日セミナー
東京都新宿区
大久保 3-14-4

夏にやることは
夏のうちに！
英語担当・志村 彰彦

やれることはすべてやる

夏を克服して合格へ

専務理事 小林 政彦

専務理事が交代されましたので、新旧お二人に激励の言葉をお願いしました。

45回生のみなさんも入学して4カ月がたちました。もうすっかり仕事にも慣れ、販売店では戦力として頼りにされていることでしょう。また、勉強では、自分なりのやり方を工夫して、仕事との両立をはかっていることと思います。

夏もペースを維持

いよいよ暑い夏です。「夏を制するものは、受験を制す」と昔から言いますが、これまでのペースを崩さないように、着実に日々の課題をこなすように心がけてください。

そのためには、授業がない日も必ず毎日セミナーに来ること。そして、健康管理には十分気を配り、仕事上の事故やけがのないように細心の注意を払ってください。

本番で実力を発揮する力

さて、7月27日から8月12日までロンドンオリンピックが開催されます。水泳の北嶋康介選手や体操の内村航平選手、そして「なでしこジャパン」の女子サッカーチームなど、さまざまな競技で、日本選手の活躍とメダル獲得が期待されています。

オリンピックの、その一瞬のために4年間のすべてを捧げてきた選手たち。その緊張は並大抵のものではないでしょう。そのような状況で、実力を発揮できる選手たちを見ていると驚くばかりです。

なぜ最高のパフォーマンスができるのか、やはり、本番に臨むまでに練習に練習をかさね、「やれることは、すべてやった」という自信に裏付け

られているからではないでしょうか。

小さな一歩が大きな跳躍へ

来年の受験を考えると不安に駆られ、勉強に集中できなくなっている人はいませんか。また、勉強と仕事の両立に悩

んでいる人はいませんか。

そういう時は、4月に入学したときの「決意」「気持ち」を思い出してください。どんなに辛い道でも自らが選んだ道です。そして、今できることを、今やらなければならぬことを確実に実行する。焦ることはありません。一歩一歩着実に歩を進めて行きましょう。一歩は小さいかもしれませんが、毎日続けることで、振り返れば大きく進んでいるのです。そして、来年の受験当日には「やれることは、すべてやった」という気持ちで試験に臨んでください。

今年の暑い夏を克服して、

来春は全員が志望校に合格するという栄冠を勝ち取ることを期待しています。

最後まで力を緩めず合格

前専務理事 原 宏行

スポーツの開会式といえば高校野球であろう。参加チームの整然とした入場、選手宣誓、そして直ちに試合開始。オリンピックの場合は少し異なる。商業主義に毒され華美になり過ぎている。選手は長時間拘束されるらしい。たまにたま3人の元オリンピック選手がテレビのバラエティ番組に出ていたが、開会式に出たか聞かれ3人とも「一度も出ていません。自分の競技の練習をしていました」と答えていた。セミナー生はテレビでオリンピックの表などを見ずに、裏で練習する選手を見習い、自分の勉強に励もうではないか。受験の夏は一生に一度なのだから。

原前専務理事

夏本番を迎え、東京は厳しい暑さが続きます。受験生にとっては困難な季節ですが、夏を克服し、勉強に集中することで合格への道が開かれます。身体的にも、精神的にも、暑さを乗り越えてください。

「推敲」という言葉があります。作家は原稿を書き上げるのに、何度も推敲を重ねてより完成された作品に仕上げていきます。書いたらそれで終わりではないのです。脳神経外科医の林成之氏は、達成感を覚えたときたん脳の働きは鈍くなると指摘しています。勝負の世界で十中八九手にした勝利を土壇場で逃すのも、「勝った」、「やった」という感覚を勝利が確定する前に感じてしまうからだそうです。

皆さんにとって受験勉強はまだまだ道半ばです。「推敲」や「達成感」を云々する時期でもありません。今は一つでも多くの漢字や英単語を覚えなければなりません。最後の最後まで力を緩めず、気を抜かず、合格への強い気持ちを持って勉強を続けてください。

この度、セミナー専務理事を退任しました。これからは皆さんを外から応援して行きます。